

# 問 米の直接払交付金廃止の対応は



答 飼料用米の作付面積を拡大する

豊創会 村上 孝 議員

**問** 国は生産性の上がる大規模農家の育成と、農地集約を図るようだが、本村の農業政策をどのように進めるのか。

**答** 米の生産調整が後戻りしないように、飼料用米の定着や需要に応じた麦や、飼料作物等の生産を引き続き推進する。

**問** 老朽化した幼稚園の建て替えは  
**答** 施設の再編整備計画の中で検討

**問** 幼児と小学校を連携し幼児教育の充実を図り、50年を迎える幼稚園は即刻建て替えるべきだ。

**答** 幼児教育の充実は、幼児期に育ってほしい姿を明確にし、公立、私立関係なく保幼小連携を図るため、今後できるだけ早い時期に基本計画案をまとめ



老朽化した幼稚園を建て替えるべき

たい。

**問** 緑地保全に伴う用水路の清掃  
**答** 自治会などの地元団体と連携

**問** 坏土地改良区内の用水路の給水設備が完成して以来、斜面緑地にある用水跡地がそのままに放置されている。

**答** 関係団体が連携して水路や農道等の管理を行う体制づくりを支援していく。

# 問 国体開催までの取組みは

答 効果的な整備手法を検討していく



新政とうかい 河野 健一 議員

**問** 現在、村松地区周辺整備検討委員会において、阿漕ヶ浦の周辺整備に向けた検討が行われている。委員会の進捗、今後の取組みについて伺う。

**答** 現在、この地区の活性化の方向性を取りまとめているところであり、具体的な取組みは次の段階にて検討する。今後は計画を策定し、取組みを行っていく予定だが、実施段階における費用や効果等の分析も必要であり、一定の年数を要するものと考えている。

**問** 2年後に行われるいきいき茨城ゆめ国体でホッケー会場として使用する阿漕ヶ浦公園や国道245号線の拡幅工事によって減少する駐車場対策を踏まえ、公園内及び公園周辺については景観等を考慮し、先行して行う

ことができる整備については国体の開催までに実施することが望ましいと思われるが考えを伺う。

**答** 公園の景観整備や駐車場対策については最優先に進めていくことが効果的であると認識しているので、関係地権者等と協議し、整備手法を検討していく。



2年後の国体に向けた整備を行う